

ピックアップ

公共図書館と ボランティアの活動

- 能代市市民活動支援センターの取り組み
「お茶碗(ちゃわん)ぴかぴかプロジェクト」
- 震災を考える「できることから始めよう」
災害への備え①防災の基本「自助」
- 情報あらかると
- 憩うところ&イベントカレンダー

くずだま

9
2011



私たちにできること

「避難所をみんなのハートで飾ろう」

「ゼロダテ／大館展」が5周年を迎え、8月12日～20日に開催されました。商店街での美術作品展、誰でも出品できるオープンな展覧会「ゼロ展」に加え、400年もの歴史をもつ「矢立温泉赤湯」でのコンサート、著名人の講演会やライブペインティングなどが行われました。

ゼロダテでは、日比野克彦氏（現代美術家）が取り組んでいる「東日本大震災復興支援活動『ハートマーク♥ビューイング』プロジェクト」※に賛同し、大館展開催前にワークショップを実施。「愛」や「こころ」をイメージする形「ハートマーク」を布地で作りました。大館市外から参加された方、知り合いが被災されているという方、気持ちを届けたいという方など、多くの方の想いが込められたハートマーク約320点が出来上がりました。期間中は大館駅構内に展示され、その後、被災地の避難所や仮設住宅へと届けられます。（ゼロダテ<http://www.zero-date.org/>）

※被災地を想う気持ちを形にし、被災者の方々のところに届け、それが励みになり、被災地の復興への活力になることを願って行われています。（<http://heartmarkviewing.jp/>）

公共図書館とボランティアの活動

公共図書館では、地域のボランティアのみなさんが書架整理や本の修理をしたり、子どもに絵本と親しんでもらうためおはなし会などを開催したりしています。県北地区での取り組みの一例をご紹介します



能代市 ボランティアがウインドーディスプレイの制作

能代市立図書館では、読書活動推進を図るため「図書館ボランティア『ホワイトブックス』」が定期的におはなし会の開催と図書館入り口のウインドーディスプレイの制作を行っています。そのほかにも、能代山本郡の読み聞かせ等の団体・個人の集まり「おはなし あのねっと」によるおはなし会が月1回行われています。また、書架整理や本の修理のボランティア登録があり、個人の方が、自由な時間に訪れてお手伝いをしています。図書館では、ボランティアの力を借りながら、市民に親しまれる利用しやすい図書館をめざしています。

図書館の取り組みとして、昨年度から一般の方を対象にした「大人のための朗読会」を開催。発表者は市内の高校生で、今年8月に開催された朗読会では、市内全高校（6校）から発表者が参加し、たいへん有意義な時間となりました。

【能代市立図書館 TEL.0185-54-1114(金子)】

図書館ボランティア「ホワイトブックス」

○おはなし会 毎月第4土曜日 14:00～14:30

○おはなし会ぶち(幼児対象)年3回10:30～11:00

平成4年発足。おはなし会のほかに、大型紙芝居の制作、図書館入り口のウインドーディスプレイの制作を季節に合わせて行っています。

図書館での活動のほか、保育園や小学校、高齢者福祉施設でもおはなし会を行っています。



図書館入り口のウインドー。能代市で開催された小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示にあわせて制作。

大館市 読み聞かせボランティア2団体が定期的に読み聞かせ

大館市立中央図書館では、読み聞かせボランティア2団体「大館親子読書会」「おはなしの森」が定期的におはなし会を開催、学校等の夏休みには、高校生を交えたおはなし会を行っています。また、図書館後援会の有志による図書館ボランティアグループが、書架整理や本の修理を月2回1時間半くらい行っています。図書館では日頃から利用者の意見や要望に配慮し、利用しやすい環境整備を心がけており、ボランティアのみなさんにも活動しやすいように配慮しています。

【大館市立図書館 TEL.0186-42-2525(松田)】



読み聞かせボランティア「大館親子読書会」

○おはなし会 毎月第1金曜日 10:30～11:30

昭和52年発足。長年にわたる子どもの読書を推進する活動がたたえられ「平成22年度子ども読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）」の優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受けました。

読み聞かせボランティア「おはなしの森」

○おはなし会 毎月第3金曜日 10:30～11:30

平成17年発足。おはなし会は、大館市立花矢図書館、大館保健センター、公民館などでも定期的に行っているほか、小学校、幼稚園などでも行っています。

毎年大館市内の高校生が参加し行われている夏休みのおはなし会。今年は「おはなしの森」がはじめて担当しました。



北秋田市 ボランティアが 図書館事業に協力

北秋田市鷹巣図書館では、図書館ボランティア「たまてばこ」が定期的に、おはなし会を開催しています。また、「園児の図書館体験デー」「読書感想文・感想画コンクール」などの図書館事業にも協力しています。

【北秋田市鷹巣図書館 TEL.0186-62-3311(小笠原)】



図書館事業「園児の図書館体験デー」でも読み聞かせを行っています。

図書館ボランティア たまてばこ

○おはなし会「おはなしでこ〜い」

毎月第3土曜日14:00~15:00

場所:北秋田市ファルコン(文化会館)会議室

「たまてばこ」は、たくさん子どもたちに生の声によるお話を楽しんでほしいと、平成5年に発足しました。図書館での活動のほか、保育園・小学校・児童館・さまざまな催しからの依頼を受け、読み聞かせなどを行っています。



読書ボランティアの紙芝居はじまりはじまりー図書館主催「本のたんけん丸ー昭和の自転車紙芝居」開催。昭和文化を紙芝居と体験談で子どもたちに伝えています。

小坂町 読書ボランティアと連携

小坂町立図書館では、子どものための催しとして、読書ボランティアによる読み聞かせ会「おはなしランプ」を月1回、学校等の夏休みには図書館事業「本のたんけん丸」をボランティアの協力により開催しています。今後も協力しあいながら本に親しむ場を提供したいと考えています。

【小坂町立図書館 TEL.0186-29-2207(酒井)】

小坂町読書ボランティア

○おはなし会「おはなしランプ」

毎月第3水曜日 10:30~11:30

活動は7年前から行っていましたが、グループとして立ち上がったのは昨年。図書館で出会った本好きの仲間、子育て中の若い会員が多いです。小中学校、児童館などからの依頼により開催しています。

鹿角市 読み聞かせボランティアの窓口

鹿角市立花輪図書館では、読み聞かせボランティアが幼児・児童の読書への感心を培うため定期的におはなし会を開催しています。そのほか、地域の歴史・風土を学ぶため「郷土史学習会」を月2回。また、伝説や民話の宝庫鹿角ならではの取り組みとして、地元には伝わる昔話や世界の民話をテーマにした「読書感想画コンクール」を実施。【鹿角市立花輪図書館 TEL.0186-23-4471(山崎)】



「おはなしくれよん」が児童センターで行ったおはなしイベントの様子

読み聞かせボランティア そよ風

○おはなし会

毎月第2土曜日 10:50~11:30

平成15年発足。図書館でのおはなし会を担当しています。

読み聞かせボランティア おはなしくれよん

平成15年発足。保育園や小学校などからの依頼により開催。例会では事前打合せと開催報告、細かいところまで意見を交わし共通理解をしているほか、お互いに発表し合い、スキルアップを図っています。

多くのボランティアとともに、地域に根ざした取り組みをしている公共図書館。「新しい公共」の取り組みが進められるなか、社会教育施設である公共図書館は、どのように変わっていくのでしょうか。(あお)

能代市市民活動支援センターの取り組み ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

能代市市民活動支援センターは、市民の自主的な活動を支援し、市民、市民活動団体、行政等の交流や協働を進めてきました。築き上げた市民活動団体や市民とのつながりが、震災復興支援で力を発揮した取り組みについて支援センターの嶋山正和さんに紹介していただきました。



お茶碗(ちやわん)ぴかぴかプロジェクト

5月末のある日、能代市内で菓子店を営んでいる田中健一さんから「昔、仕出し店を始めようと買いそろえた未使用の食器を東日本大震災の被災地に届けられないか」という相談が当センターに寄せられました。

さまざまな手段を講じて受け入れ先を探してみたところ、仮設住宅で食器が不足しているということが分かりました。

日をあらためて田中さんのもとを訪れ食器を確認させていただくと、なんと、大きなりんご木箱12箱分の皿や小鉢、茶碗が積まれておりました。未使用とはいえ40年にわたって保存されていたということもあり、傷がつかないように包装していた新聞紙のインクがごびり付いていたり、ほこりを被ったりしていました。そこで当センターに登録している市民活動団体などに協力を呼び掛け、食器をぴかぴかにしてから被災地に送ろうということにしました。

7月6日に実施した洗浄作業には、当センター登録団体の会員、新聞の記事を見て駆けつけてくださった市民ボランティア、そして当センターの職員が参加しました。

相当な数の食器だったため、参加したみなさんは口数も少なめにひたすら作業を続けていきました。気がつけば会場となった能代市働く婦人の家の実習室には、塔のように積まれた食器が所狭しと並べ立てられておりました。すべての食器を洗浄するのに費やした労力は総勢12人でおよそ2時間でした。

食器は乾燥させた後、翌7日にあらためて新聞紙で包装した上で、段ボール箱に梱包しました。実はこの作業も洗浄と同様になかなかの労力があるものなのですが、こちらも当センター登録団体の協力をいただきました。

8日には、これらの食器を仙台市の運送会社日本軽貨物仙台の被災者支援ボランティア「伊達輸送隊」に持ち込みました。「伊達輸送隊」は大きな組織にはない機動力を生かして迅速に被災地へ救援物資を届けているため、被災され方々からとても感謝されており、輸送用に使用している自動車のボディは書き入れられた感謝のメッセージで埋め尽くされておりました。

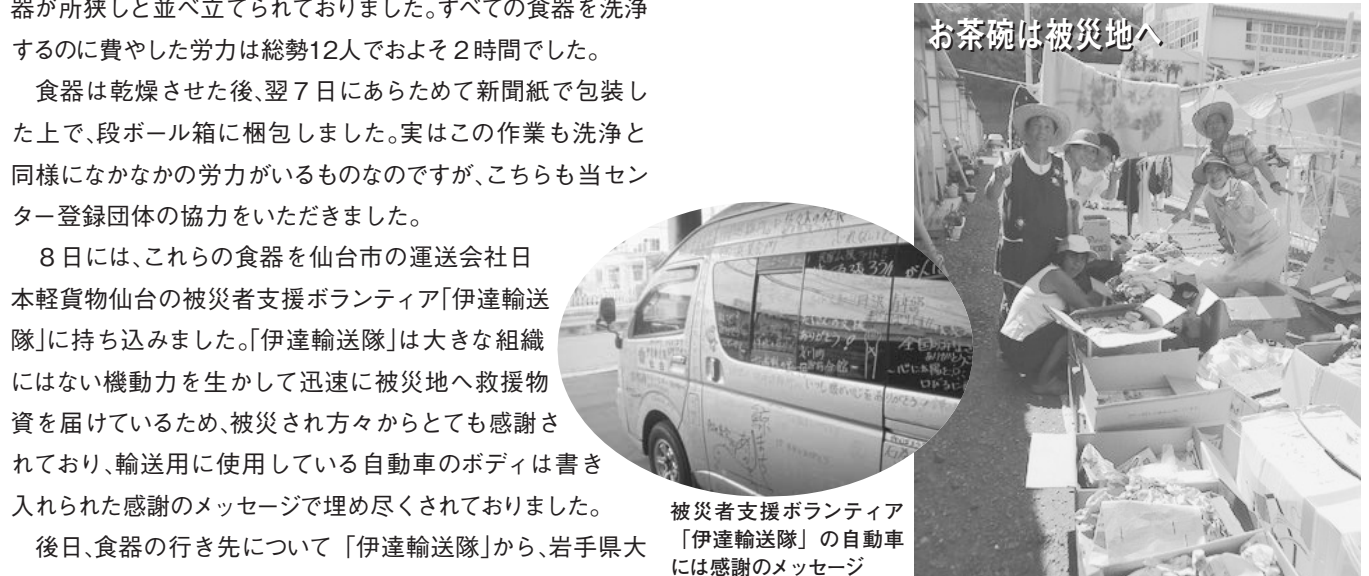
後日、食器の行き先について「伊達輸送隊」から、岩手県大

船渡市の市立大船渡中学校校庭にある応急仮設住宅の入居者に頒布会を行ったという連絡をいただきました。この話を聞き、職員から驚きの声が上がりました。というのも、大船渡市は市町村合併前の気仙郡三陸町の頃より能代市とともに、銀河連邦※を形成しており、そのご縁から能代市社会福祉協議会で被災地支援ボランティアを派遣しているさなかだったのです。届け先に関してはおまかせしていたのですが、偶然めぐり合わせでした。このほか岩手県釜石市、宮城県石巻市、宮城県牡鹿郡女川町にある避難所にも寄贈されました。

「物を提供する」「受入先を探す」「(保管や洗浄の)場所を確保する」「人を集める」「物を洗浄および梱包する」「物を輸送する」というように、このプロジェクトはさまざまな人によって支えられており、これら一連の経過があったからこそ、およそ40年間眠っていた食器を被災地に届けることができました。

生活再建への道のりは平坦ではないでしょうが、少しでも被災された方々のお役に立てればと願っています。

※銀河連邦…昭和62年に旧文部省宇宙科学研究所(現:宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部)の研究施設がある2市3町(現在は4市2町)が、限らない宇宙への夢とロマンを求め、ユーモアとパロディーの精神で建国した連邦国家で、平成19年に建国20周年を迎えました。



被災者支援ボランティア「伊達輸送隊」の自動車には感謝のメッセージ

9月1日は『防災の日』。毎年、全国各地で防災訓練や防災講座などが開催されています。この日は1923(大正12)年の関東大震災の発生日です。その教訓を忘れずに防災に対する認識を深め、備えをしておきましょうということで1960(昭和35)年に制定されました。また、阪神淡路大震災の発生日、1月17日は『防災ボランティアの日』となっています。秋田県では1983(昭和58)年日本海中部地震の発生日、5月28日が『県民防災の日』となっていますね。

私たちは災害直後には各家庭でも備蓄をしたり、情報を集めたりと備えをしますが、ともすれば「喉もと過ぎれば暑さ忘れる」になりがちです(そうして、災害は忘れた頃にやってきます)。そうならないためには、年に数回あるこうした防災の日に学校や職場だけでなく、各家庭でも非常食を食べて備蓄物資の入れ替えをしたり、防災訓練に参加するなど継続していくことが重要です。

大きな災害のあとは得てして近隣での助け合い・共助の重要性が強調されがちですが、防災の基本は「自分の身は自分で守る＝自助」です。自治体などからの公的支援・公助を含め、3つの力は災害時にどれくらいの割合で必要になると思われますか(答えは文末に)。自助を進めるためにはどんなことが必要なのでしょう。



災害を知る

防災対策を立てるには、まず「敵」を知らなければなりません。住まいや学校・職場がある地域では、どんな災害がどの位の規模で起きる可能性があるのか情報を得ましょう。県や自治体では地震や洪水、土砂災害のハザードマップを作成しており、窓口やホームページから入手可能です。

地震危険度の高い地域では地震に強い家にする、洪水や土砂災害の危険度が高い地域では危険情報の入手方法や避難経路を予め確保・確認しておくといった準備が必要です。また、同じような災害は地域に繰り返しやってきます。行政からの情報だけでなく、年配の方から昔のことを聞いておくことも、その地域の災害の特徴を捉えるポイントになります。



渡辺千明さん

秋田県立大学木材高度加工研究所准教授。地域防災学専門。地域資源を活用したまちづくり・民家の工法と生活文化・中山間地域における地域社会の防災力・災害ボランティアの研究を行っています。



非常持ち出し袋は新たに購入しなくても、使わなくなったリュックやバッグで十分です。食品、薬・衛生用品、貴重品など、きれいに洗った牛乳パックを使って分類すると中身が一目瞭然で使いやすさが増します。



必要なものは人それぞれ

国や自治体では各家庭に3日分の食糧と水の備蓄や非常持ち出し品の準備を呼び掛けています。避難所で被災者の方々がみな満足するような物資の支給はありません。東日本大震災では県内のみなさんも停電や断水など生活支障を経験されたと思いますが、赤ちゃんや子どもがいる、高齢者や病人がいる、ペットがいるといった各家庭それぞれの事情により、同じ食糧や生活用品でも異なるものが必要なことがお分かりかと思います。また、3日はあくまでも支援が届くまでの目安であり、土砂災害などで孤立する可能性の高い集落ではもっとながめの準備が必要でしょう。今回の震災では、津波を見てから避難を開始したという方もいらっしゃいます。発生が夜だったらどうなっていたでしょう。災害はいつ起きるかわかりません。地域で発生する可能性のある災害が、夜起きたらどうだろう?真冬だったらどうだろう?と想像力を働かせながら、各家庭の事情を反映して備えることが重要です。



続けることが重要です

地震に備えお家を耐震補強しても年月がたてば老朽化し、腐朽や劣化が進めば耐震性は下がります。そうならないためには継続的なメンテナンスが重要です。備蓄している食糧品や水は更新が必要です。家族構成や家族の健康状態の変化によっても必要なものは変わってきます。家族がみな一緒に暮らしているか、離れて暮らしているかによっては安否確認の方法も異なってきます。災害への備えは一度行ったら終わりではなく、せめて年に1度は見直して、不意の災害に備えたいものです。

答え:一般的に 自助:共助:公助=7:2:1 と言われています。

情報あらかると

イベント情報

鹿角市

鹿角市伝統工芸技術伝承事業 ものづくり作品展2011

【日時】平成23年9月15日(木)～

19日(月)10:00～17:00

【会場】関善賑わい屋敷(鹿角市花輪)

【内容】鹿角在住14の工芸作家の作品を展示

【入場】無料

☎NPO法人関善賑わい屋敷

TEL.0186-23-7799

大館市

お気に入りだらけの ノミの市

【日時】平成23年9月18日(日)19日

(月・祝) 10:00～16:00

【会場】大館樹海ドーム パークセンター
(大館市上代野)

【内容】北海道から九州までの手作り作家さん50組が大集合します。

【入場】無料

☎Unique(主催)

TEL.090-4316-9214(代表/虻川)

北秋田市

子どもたちに豊かな自然と未来を残すために

秋田の環境とエネルギー を考えるつどい

【日時】平成23年9月18日(日)

9:30～12:00

【会場】北秋田市交流センター(北秋田市材木町)

【内容】記念講演「電気を使わなくても楽しく快適な生活はできます」講師/藤村靖之氏(発明家、非電化工房主宰、日本大学教授)対談「私たちは今歴史的な転換期を生きています」谷口吉光氏(秋田県立大学教授)

【参加費】300円(資料代)※チケット取扱所をご確認ください。

☎鷹巣安全な石けんを広める会「さぶる」(主催)

TEL.0186-66-2032(事務局/佐藤)

秋田市・大館市

森吉山阿仁スキー場 パネル展示

【日時/会場】9月19日(月・祝)～29日(木)/遊学舎(秋田市上北手荒巻)

9月30日(金)～10月23日(日)/北部男女共同参画センター(大館市)

【内容】花の百名山にも数えられ、また、約300の高山植物が咲き誇る森吉山阿仁スキー場の眩しいほどの紅葉の写真展示。

【入場】無料

☎NPO法人森吉山

TEL.0186-82-2206(担当/石田)

大館市

防災セミナー 災害から日常へ

～その時、あなたは…!?

【日時】平成23年9月24日(土)

13:30～15:30

【会場】秋田県北部男女共同参画センター(大館市馬喰町)

【内容】3.11震災から5ヶ月…あの時のこと、あれからのこと、自由に語り合いながら、防災について考えます。

【対象者】どなたでも参加可能

【定員】20名(定員になり次第締切)

【参加費】無料

※託児をご希望の方は事前にお申し込みください。(無料)

☎申込:秋田県北部男女共同参画センター(主催)TEL.0186-49-8552

能代市

風の松原植栽300年祭

【日時】平成23年9月25日(日)

10:00～15:00

【会場】風の松原いこいの広場

【内容】ステージイベント、自然散策、グルメ市、パネル展など見どころ満載です。能代市の貴重な財産「風の松原」へ、ぜひ、お越しください。

【参加費】無料

【主催】風の松原植栽300年祭実行委員会、能代市

☎実行委員会事務局(能代市林業振興課) TEL.0185-89-2250

能代市

第1回 のしろ市民活動まつり

【日時】平成23年10月8日(土)

10:00～16:00

10月9日(日)10:00～15:30

【会場】能代市勤労青少年ホーム(能代市追分町)

【内容】子どもや若い人からお年寄りまで多くの市民に市民活動を知ってもらう機会を設け、市民活動への参加者や支援者を増やして能代市の市民活動を活発にすることを目的として開催します。

【入場料】無料

☎能代市市民活動支援センター(第1回のしろ市民活動まつり実行委員会事務局) TEL.0185-52-0355

能代市

忍者まちを走る!第2弾 ～畠町大通りの謎～

【日時】平成23年10月10日(月・祝)

13:30～15:30

【内容】忍者になって商店街に隠された謎を解き明かそう。「たっぷり商店街に関わろう!たっぷり人に関わろう!たっぷりあそぼう!」みんなでまるとあそぼうの巻。

【会場】能代市中心市街地(畠町大通り)

【定員】小学生40名 大人15名(定員になり次第締切)

【参加費】700円

☎申込:能代おやこ劇場(主催)

TEL.0185-54-5877

募集情報

歴史的建造物補修リーダー 養成講座 受講者募集

①「匠の土間(たたき)づくり実践」
実技講座

【日時】平成23年9月29日(木)・9月30日(金)・10月1日(土)の3日間

29日30日は9:00～16:00、

1日は9:00～12:00

【内容】匠の指導による土間改修の技術講習

【定員】20名(定員になり次第締切)

②「古民家に学ぼう」概論講座

【日時】10月1日(土)13:00~14:30、
10月2日(日)13:00~15:30の
2日間

【内容】歴史資源講座。1日は講義「歴史資源を活かしたまちづくり」講師/山口邦雄氏(秋田県立大学准教授)。2日は「関善見学と講義/温故知新一歴史的建造物は近未来のお手本」講師/鈴木有氏(秋田県立大学名誉教授)

【定員】60名(定員になり次第締切)

③「花輪の歴史まち歩き」研修散策イベント

【日時】10月9日(日)9:00~12:00

【内容】大正時代の旧鹿角郡公会堂や神社仏閣、旧関善酒店などの歴史的建造物を巡る街なか散策を行い、文化財への意識を高めて頂きます。

【定員】30名(定員になり次第締切)

【参加費】無料※申込締切は9月10日

◎申込: NPO法人関善賑わい屋敷(主催) TEL.0186-23-7799

※文化庁平成23年度文化芸術振興費補助金「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」

第2回北秋田市 大運動会 参加者募集

【日時】平成23年10月16日(日)

【会場】北欧の杜公園

【内容】競技は短距離走、持久走、ペア競技、縄ない競争、障害物競争、綱引き、宝さがし、水ため競争、玉入れ競争、全員リレー。入賞者には賞品・賞状があります。

【対象者】どなたでも参加可能。年齢不問。

【参加費】無料

◎申込: 北秋田市大運動会実行委員会
TEL.090-5237-5249

北秋田市若者会議URL

<http://kitaakita-wakamonokaigi.at.webry.info/>



東北とうきんNPOパートナーシップ2011 体験型ボランティア〔参加者募集〕

東北労働金庫では、ボランティア活動に参加する際のニーズにお応えすべく、東北6県のNPO支援センターと連携して「NPOパートナーシップ制度」を実施しています。

秋田県の活動プログラムや申込等についてはお問い合わせください。

◎NPO法人あきたパートナーシップ〔担当/畠山、千田〕

TEL.018-829-5801

助成金情報

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)

【助成対象】○被災者・被災地を応援する目的でおこなわれる芸術・文化活動(表現方法・形態は問わず)○被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動○その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動

【助成金額】ひとつの活動につき上限50万円

学生も東日本大震災復興支援に動いています

秋田学生復興支援ネットワーク(以下SSNという)は、秋田の学生の力を被災地復興支援へ最大限活用すべく、本年4月に結成されました。学生が支援活動に関わるための安全に関する知識や心構えの講習を行ったり、県内の学生がミーティングを行い一つになって支援することなどで、団結して安全に継続的に支援することが目的です。

SSNはNPO法人などと連携をとり、これまでも気仙沼市などへ数回出掛けて支援を行ってきましたが、今回は、各大学の大学祭に合わせてそれぞれに震災復興支援関連イベントを企画しています。

募締切】平成23年11月30日(水)

◎公益社団法人企業メセナ協議会

TEL.03-3213-3397

http://arts-fukkou.blogspot.com/p/blog-page_11.html

お知らせ

自殺予防を願った絵本

人との出会いや絆、命の大切さというものを考えて欲しいという願いが込められた絵本。著者がこの絵本をつくろうと考えたのは、大館市自殺予防対策協議会のメンバーに入ったことがきっかけで、何か行動しよう、ゼロよりは1でも2でもプラスになればと思ったからです。ぜひ、読んでみてください。

なお、この本の販売による収益金は東日本大震災の復興支援として寄附されます。



「FOR YOU~勇気をあなたに~」

佐藤元/文

はせべさき/絵

【国際教養大学】「気仙沼の復興エネルギーが、秋田に!☆」支援に訪れた気仙沼市から、太鼓パフォーマンスや露店(南郷やきそば)が出張し、支援のお礼と復興に向かう前向きな気持ちを秋田の人々に伝えます。

【秋田県立大学】「伝えたい ~学生の見た3月11日~」被災の様子や支援に訪れたときの様子などのパネル展。

【秋田大学】「がんばれ東北ミックスジュース」東北各地の野菜などのミックスジュースを作って販売。

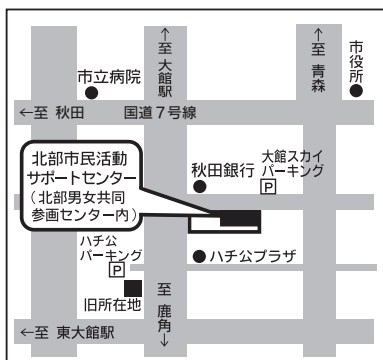
◎秋田学生復興支援ネットワーク

E-mail ssn.akita@gmail.com

9/15 木	【ものづくり作品展2011】(P.6) ・みんなの茶の間(上小阿仁村・旧小沢田小学校) 10:00~15:00	29 木	【歴史的建造物補修リーダー養成講座】(P.6) ・みんなの茶の間(上小阿仁村・旧小沢田小学校) 10:00~15:00	
16 金	・サロンあんず(北秋田市交流センター) 11:00~14:00	30 金	【歴史的建造物補修リーダー養成講座】(P.6) ・サロンあんず(北秋田市交流センター) 11:00~14:00	
17 土	18 日	10/1 土	【歴史的建造物補修リーダー養成講座】(P.7) ・ほっとサロン(山本地域振興局県民交流サロン) 13:30~15:30	
19 初月	【森吉山阿仁スキー場パネル展示】(P.6) 【お気に入りだらけのノミの市】(P.6)	2 日	【歴史的建造物補修リーダー養成講座】(P.7) ・ふれあいサロン(鹿角市十和田) 9:30~11:30	
20 火	・陽だまりの会「らべんだー」(高齢者多目的集会所施設「はつらつ苑」) 13:30~15:30 ・コーヒーサロンよってたもれ(藤里町三世交流館) 13:30~16:00	3 月	4 火	5 水
21 水	・がんサロン(大館市立総合病院) 13:00~16:00	6 木	・みんなの茶の間(上小阿仁村・旧小沢田小学校) 10:00~15:00	・コーヒーサロンよってたもれ(藤里町三世交流館) 13:30~16:00
22 木	・おしゃべりサロン(三種町八竜農村環境改善センター) 13:30~15:30 ・ふれあいサロン(鹿角市十和田) 9:30~11:30 ・みんなの茶の間(上小阿仁村・旧小沢田小学校) 10:00~15:00	7 金	・サロンあんず(北秋田市交流センター) 11:00~14:00	
23 初金	24 土	8 土	【第1回のしろ市民活動まつり】(P.6)	
24 土	【防災セミナー「災害から日常へ」】(P.6)	9 日	【歴史的建造物補修リーダー養成講座】(P.7)	
25 日	【風の松原植栽300年祭】(P.6)	10 初月	【忍者まちを走る!第2弾】(P.6)	
26 月	27 火	11 火	・陽だまりの会「レーがる」(八峰町文化交流センター「ファガス」) 13:30~15:30 ・コーヒーサロンよってたもれ(藤陽) ・ほっとサロン(ニツ井公民館) 9:00~12:00	
27 火	・コーヒーサロンよってたもれ(藤里町三世交流館) 13:30~16:00	12 水	・ふれあいサロン(鹿角市十和田) 9:30~11:30	
28 水	・ふれあいサロン(鹿角市花輪) 9:30~11:30	13 木	・みんなの茶の間(上小阿仁村・旧小沢田小学校) 10:00~15:00	
		14 金	・サロンあんず(北秋田市交流センター) 11:00~14:00	

- 【三種町】おしゃべりサロン「縁側で日なたぼっこ」(八竜どうもの会) ☎三種町保健センターTEL.0185-83-5555
- 【能代地区・ニツ井地区】ほっとサロン(サポートグループふれあいのWA) ☎能代市保健センターTEL.0185-58-2838
- 【花輪地区・十和田地区】ふれあいサロン ☎鹿角市健康推進課 健康増進班 TEL.0186-30-0119
- 【八森地区・峰浜地区】陽だまりの会「レーがる」「らべんだー」 ☎八峰町福祉保健課 TEL.0185-76-4608
- 【北秋田市】サロン「あんず」(精神保健福祉ボランティア「れもんの会」)☎TEL.090-3645-6520(代表/小坂和子)
- 【上小阿仁村】みんなの茶の間 ☎上小阿仁村保健センターTEL.0186-77-3008
- 【藤里町】コーヒーサロン「よってたもれ」(心といのちを考える会) ☎事務局TEL.0185-79-1522
- 【大館市】がんサロン(大館地区がん患者友の会「大館虹の会」)☎TEL.0186-42-4388(代表/土門昭夫)

秋田県の市民活動団体の情報が満載! 秋田県市民活動情報ネット <http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



《編集後記》読み聞かせボランティアのみなさんは、練習を積み、様々な工夫をこらし、日々努力されています。いとまがない活動に励むみなさんへ、心よりエールを贈りたいです。(あお)



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成23年9月10日発行
発行: 秋田県企画振興部地域活力創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3873
編集: 北部市民活動サポートセンター
〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1
TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
E-mail an gec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。○この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり23.3円です。